

カフェ・食堂：【交流】持ち寄り食堂/シェアキッチン（一日店長の飲食店とかできる）/多世代が楽しめる相席食堂/コーヒー一杯で交流/一人食の応援（ひとり暮らし、子ども）/世代別などテーマ型カフェ【自然】野草カフェ【フードロス】食品ロスの持ち寄り料理：【習う】魚のさばき方講座/料理教室（今日の晩御飯）【自然】どんぐりでクッキーづくり

発信・飲食店：千里中央に来てほしい店、レストランを呼べる仕組み/各飲食店で料理教室

特産品・イベント：【イベント】出身地の各名産品紹介フェスタ/千里をめぐるバルイベント/キッチンカーでイベント/大きいお好み焼きでギネスに挑戦/公園でバーベキューイベント【特産品】新しい千里の名物づくり（お土産品）/千里クラフトビール、コーラづくり/味噌漬けコンテスト  
野菜づくり・収穫：畑づくり/都会で農的なライフスタイル発信/畑で収穫した野菜を食べる/シェア



## 子ども

体験・活動：子どもが運営する子ども食堂やお店/本をテーマにした活動/eスポーツができる場所

学校以外の学びの場：【集いや活動の場】不登校の子たちが主体的に活動できる場所/ティーンのみどり場/まちなかリビングのような場づくり【学習の場】飲食OKのフリースペース/子どもも大人も一緒に学ぶ場所

子育て支援：親も支える子ども食堂（お迎え代理や託児など）/あかちゃん食堂/パパ同士がつながれる場/おさがりをシェアする会やバザー

交流：おじいちゃん、おばあちゃんと話す場・悩み相談/社会人と触れることができる場づくり/高齢者と子どもの世代交流/駄菓子屋づくり/おもちゃ病院

あそび場：自然体験できる場づくり/ボールあそびできる場づくり/お金を使わなくても楽しく遊べる場所/スケボーができる場所をつくりたい/室内の遊び場づくり

情報：イベント情報の集約や共有/子どもも読める情報媒体

## アンケート結果

## 1. ワークショップの感想

- ・他地域の事例を知ることができ、良かった
- ・できる、できないに関わらず、たくさんのアイデアが聞けてワクワクしました
- ・案は多く出たが、3月までに何が実行できるか不安
- ・みなさんの意見を聞く時間が少なかった
- ・楽しく参加できた
- ・前回の取り組みをまとめた資料があって思い出せたのでとてもよかった
- ・いろいろな方と話をすることができた
- ・千里の自然（竹）に興味がある人が多かった など

## 2. それぞれのテーマで気になる取り組みを教えてください。

- 子** 各世代で何を求めているのかのアンケート/eスポーツ、スケボーなど子どもが遊べる場所/ママ同士のお下がり交換、情報交換/食は必ずあわせてすすめたい/居場所づくり/子どもだけでなく、親も楽しめる仕掛け
- 竹** 竹細工で収益化/竹を使ったフォトスポットやタケノコ掘り等親子で参加できるイベント/竹ドーム/竹林整備
- 食** 味噌づくり、親子クッキング、雑草を摘んで調理して食べる会/地産地消や子ども食堂/ティーンのみどり場やママの情報共有の場に食/市民（子ども）が考える新メニューを千里中央のお店とコラボしてつくる、売る/憩いの場/貸し農園
- 他** 千里の総合案内所

## スケジュール

- 第1回 活動できそうな場所を見つけよう  
10/20 @ 14:00~16:30
- 今回はここ  
第2回 やってみたいアイデアを考えよう  
11/24 @ 14:00~16:30
- 第3回 活動に向けた企画をつくろう①  
12/8 @ 14:00~16:30
- 第4回 活動に向けた企画をつくろう②  
1/12 @ 14:00~16:30
- 第5回 活動の準備をしよう  
2/16 @ 14:00~16:30
- 第6回 チャレンジDAY  
3/29

# これから千里 活動づくりワークショップ

## 第2回

- 2023年度に発行した、千里アクティビティガイド「これ、せん？」の活動アイデアをもとに、千里中央駅周辺の企業、市民活動団体、地域のみなさんが協働して新たな取り組みを生み出していきます。
- そのために地域の活用できそうな場所をフィールドワークしながら見つけ出したり、協働するからこそおもしろくなりそうな活動アイデアを出したり、そのアイデアを企画して実験してみたりする全6回のワークショップを開催しています。

### アイデアを考えよう

11/24 @ 14:00~16:30

- 1 はじめに
- 2 前回のふりかえり
- 3 活動づくりワークショップについて
- 4 事例紹介「泉北ニュータウン」
- 5 アイデア出し
- 6 チーム分け
- 7 おわりに

### はじめに 豊中市よりごあいさつ

昨年度は市民や企業のみなさんの意見をもとに、千里中央エリアの取り組みの方針を示す「これ、せん？」を発行しました。前回は、この「これせん？」に書かれているような取り組みができそうな場所を見つける、フィールドワークを行いました。どんな場所を見つけたかは、前回のニュースレターでご確認いただけたらと思います。今回は、テーマごとにどのような活動をしてみたいのか、アイデア出しを行います。自分が「ぜひやってみたい」と思うアイデアをどんどん出していただけたらと思います。



### 千里中央エリアのフィールドワーク 前回のふりかえり

今回のふりかえりは、テーブルごとに自己紹介をしながら、前回のフィールドワークについて感想を含めて共有していただきました。前回参加した方は、「まちを歩いてみて気づいたこと」や「気に入った場所」、「その場所でどんなことをやりたいと思ったか」などについて話していただき、参加できなかった方は、「参加した方の話を聞いて感じたこと」や、「自分の好きな場所」などについて話しました。



## 趣旨説明

第1回ワークショップに参加できなかった方もいたため、改めてこの活動づくりワークショップについて、studio-Lの神庭さんから説明していただきました。

この活動づくりワークショップの目的は、参加者のみなさんが自ら活動をつくり、来年3月末にみんなでイベントを開催することです。そのため、このワークショップでは、活動を実施するために必要なノウハウを学んだり、他の参加者との交流や連携の機会があります。

昨年度までのワークショップでは、千里中央駅周辺に「あったらいいな」という活動案を多く出していただきました。その中で、特に多くの方からご意見をいただいたのが「交流」を目的

とした活動でした。そのため、今年度は「交流」を軸にしながら、多くのアイデアが出されていた「自然(竹)」「食」「子ども」をテーマに進めていきたいと思っています。また、それぞれのテーマには他のテーマを組み合わせていただいても構いません。そうすることで、活動の幅がさらに広がると考えています。「こんな活動をしてみたい」と思ったアイデアをどんどん出していただければと思います。

そして、今回のようなワークショップは来年度以降も継続的に実施していく予定です。そのため、みなさんの活動を支える仕組みが必要になります。これから皆さんの活動をサポートする体制づくりについても検討していきたいと思っています。



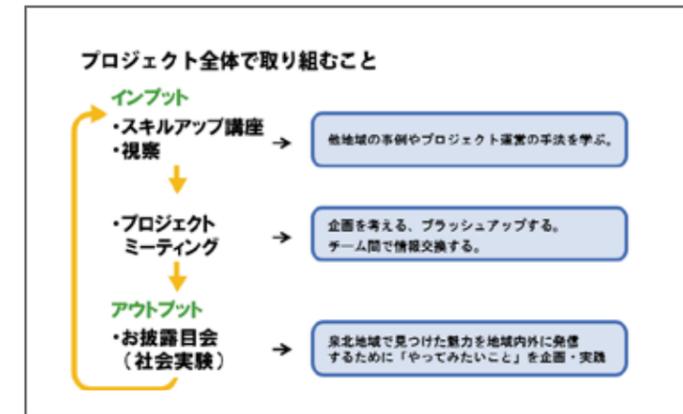
## インプットとアウトプット

泉北のプロジェクトでは、インプットとアウトプットを大切にしました。インプットとは、企画をつくる前に事例を自分たちで調べたり、実際に現地を訪れたりすることです。他には、情報発信のスキルを学ぶ活動も行いました。その上で、ワークショップでは、自分たちで活動を考え、最終的にイベントをみんなで開催するというアウトプットを行うサイクルを進めていきました。

毎年、企画のお披露目を開催しました。初年度はプログラム数8、スタッフ40人、来場者約120人でしたが、年々増加し、3年目にはプログラム32、スタッフ数110人、来場者1500人にまで増加しました。メンバー同士のつながりも強まり、事務局を作ろうという動きが出始めました。これにより、プロジェクトをより組織的に進めるための体制づくりが進行しました。

その後、泉北ニュータウンに縁のある「ひと」を題材にしたドキュメンタリー雑誌「RE EDIT」をクラウドファンディングで資金を集めながらVol.4まで発行する活動が新たに生まれました。また、公園の再整備に伴うプログラムにメンバーが関わったり、私設図書館を立ち上げるメンバーがいたりするなど、多様な展開が見られています。

さらに、レモンチームは一般社団法人を立ち上げ、生産者コミュニティが出荷組合を設立しました。そこから、フロマージュやクラフトコーラなどの特産品も生まれています。



### 事例紹介

## 泉北ニュータウン

studio-Lの神庭さんより、ニュータウンでの活動づくり事例として、泉北ニュータウンのプロジェクトについてご紹介いただきました。

堺市にある泉北ニュータウンは、農村地域とニュータウンが交互にあるような形で整備されました。入居者の高齢化や若い世代の転出問題を解決するため、この地域の魅力が十分に外に伝わっていないことが課題ではないかと考えられました。そこで、ニュータウンの良さを発信する「自作自演の魅力づくり」を進めるプロジェクトが始まりました。

地域には様々な魅力がありますが、泉北ニュータ

ウンでは地域の魅力を自分たちで創り出し、それを活動を通じて発信することで、より多くの情報を広められるのではないかと考えました。結果的に、地元食材をリアカーに積んでカレーを作り、それを販売する活動や、泉北ニュータウン内の庭にレモンを植えて「レモンのまち」にしようとする活動などが生まれました。

こうした新たに生まれた活動を自分たちで運営できる形にするため、毎年イベントを開催しました。studio-Lは4年目には地域を離れましたが、その後は泉北の皆さん自身で活動を続けています。

このプロジェクトでは、企画立案の際にいくつかのルールを設けていました。そのルールに従いながら、やりたいことがある人がプレゼンを行い、賛同者とチームを作って活動を開始する仕組みでした。

### 企画立案のルール

- ① 泉北の魅力を見つける、創る、伝える活動であること
- ② 企画代表者会議を通過したもの
- ③ 運営は自主運営とし、活動の金銭収支をプラスマイナスゼロ以上にするとともに継続を大切にすること



### 自然(竹)、食、子どものテーマで アイデア出し

参加者のみなさんには、竹、食、子どものテーブルを3回分けてアイデア出しをしながら回っていただきました。どのテーマもとても多くのアイデアが出されました。その一部をご紹介します。

### 自然(竹)

**ものづくり:**【什器・食器など】街路樹でグリーンウッドワーク(木のスプーンづくり)/竹のベンチづくり/竹の食器づくり/竹で作ったマフィンカップ/竹かご、竹ざるづくり【音楽】竹の楽器づくり【あそび・子ども】竹馬づくり/竹のおもちゃづくり/キーホルダーづくり/竹をつかった子ども向けワークショップ【空間づくり】商業施設に緑を屋上ガーデンづくり/竹のスタードームづくり/竹の廃材でプレイパークづくり/屋根やフェンスづくり/竹でプランターを育ててミニ生垣づくり【その他】青竹踏みづくり/竹細工づくり/竹炭など消臭剤づくり/竹の枝でボールペンづくり/竹酢液づくり

**イベント:**【食】長い流しそうめん大会【ゲーム・大会】かくや姫探し/青竹踏み、ギネスに挑戦【イベント・祭り】竹灯籠づくり&イベント/クリスマスツリーを竹でつくる/竹をつかったの神輿の祭りづくり/竹林のライトアップ【スポーツ・あそび】竹林でサバゲーなど子どものあそび場づくり/竹モックル(ゆるスポーツ)/竹竿を使った運動会・棒倒し

**竹林で過ごす:**【運動・健康】竹林ヨガ【アウトドア】公園でキャンプ【鑑賞】フォトスポット・映えスポットづくり【音楽・映像】竹林でコンサート/竹林でパブリックビューイング【あそび場】竹林の中に広場をつくり、ベンチやハンモックを置く/竹の滑り台などのプレイパーク

**竹林の整備:**【保全】ナショナルトラスト:千里のみどりの保護活動【整備】竹林の整備に関わる人を増やす取り組み/竹伐採大会/竹林を整備することで健康につながる【空間】竹をめぐる空間づくり/竹林のエリアに入れるように整備する

**散策・ツアー:**緑道を歩く千里グリーンベルト一周ウォーク/四季を通じたまち散歩/千里の自然を生かしたなぞときコース  
**竹×食:**【食イベント】竹林プラスカフェ /竹でお酒を飲む、かっぱ酒/竹でごはんを炊く【たけのこ】メンマづくり/たけのこ掘り/たけのこをみんなで食べる

